

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名称：ProtoGel QC 12%  
製品番号：EC-895（メーカー略号：NDS）  
構成品名：ProtoGel QC 12%  
会社名：コスモ・バイオ株式会社  
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号  
担当部署：製品情報部  
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619  
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp  
推奨用途：試験研究用試薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分 4  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2  
皮膚感作性：区分 1  
生殖細胞変異原性：区分 1B  
発がん性：区分 1B  
生殖毒性：区分 1B  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1(神経系)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1(血液系、生殖器(男性)、神経系、眼)

#### GHSラベル要素



注意喚起語：危険

#### 危険有害性情報

飲み込むと有害  
強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
遺伝性疾患のおそれ  
発がんのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
臓器の障害(神経系)  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(血液系、生殖器(男性)、神経系、眼)

#### 注意書き

##### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

##### 応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。  
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。  
 口をすすぐこと。  
 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 貯蔵

施錠して保管すること。

#### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 特定の健康有害性

いかなる経路(眼・皮膚、吸入、摂取)でもこの物質と接触すると、神経系に影響を与える可能性がある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：2-プロベンアミド

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
アクリルアミド	12	79-06-1	2-1014

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分 アクリルアミド

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 アクリルアミド

化管法「第1種指定化学物質」該当成分 アクリルアミド

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

医療従事者の指示に従って、直ちに嘔吐させる。

直ちに医師に連絡すること。

#### 応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

#### 医師に対する特別な注意事項

毒性・発がん性・皮膚浸透性・変異原性を有する製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

アレルギーを起こすおそれがある製品。症状が遅れて出ることがある。

医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

#### 使ってはならない消火剤

データなし

### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

#### 特有の消火方法

区域から退避させること。

#### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

### 環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

汚染箇所を大量の水で完全に浄化する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

### 保管

#### 安全な保管条件

施錠して保管すること。4℃で保存すること。光を避けること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。

容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。物理的衝撃から保護すること。

#### 安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

(アクリルアミド)

作業環境評価基準(2009)  $\leq 0.1\text{mg}/\text{m}^3$

### 許容濃度

(アクリルアミド)

日本産衛学会(2004)  $0.1\text{mg}/\text{m}^3$  (皮)

(アクリルアミド)

ACGIH(2020) TWA:  $0.03\text{mg}/\text{m}^3$  (IFV) (中枢神経系及び末梢神経系障害 ; がん)

### 特記事項

(アクリルアミド)

皮膚吸収; 皮膚感作性

### ばく露防止

#### 設備対策

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(防毒マスク)

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。(不浸透性)

##### 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：無臭

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：中性

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

酸素の非存在下、熱・光・圧力への暴露、酸・塩基・酸化性材料・開始剤・還元剤の存在下で激しい重合にさらされる可能性がある。

### 化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

酸、酸化性物質、塩基、還元性物質と反応する。

## 避けるべき条件

熱、衝撃、紫外線

## 混触危険物質

酸、酸化性物質、塩基、ビニル重合開始剤、アルミニウム、鉄、銅、真鍮、青銅

## 危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物、アンモニア、水素

---

**11. 有害性情報**

## 急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

区分 4, 飲み込むと有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

rat LD50=124mg/kg (EHC 49, 1985); 175-203mg/kg (EU-RAR, 2002); 180-294mg/kg (ATSDR, 2012)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

rat LD50=252mg/kg (ATSDR, 2012); 400mg/kg (EHC 49, 1985); rabbit LD50=941mg/kg (ATSDR, 2012)

労働基準法: 疾病化学物質

アクリルアミド

## 局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

ヒト/ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2002; ACGIH 7th, 2005), EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA CL Invt.,

Access on May 2017)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002); EU CLP Eye Irrit. 2 (ECHA CL Invt., Access on May 2017)

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

cat. 1; human (ACGIH 7th, 2005); guinea pig (EU-RAR No.24, 2002); 日本産業衛生学会 第2群;

EU CLP Skin Sens.1 (ECHA CL Invt., Access on May 2017)

## 生殖細胞変異原性

[製品]

区分 1B, 遺伝性疾患のおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

cat. 1B; NITE初期リスク評価書, 2007; ATSDR, 2012; EU-RAR, 2002; DFGOT vol.25, 2009

## 発がん性

## [製品]

区分 1B, 発がんのおそれ

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

cat.1B; EU Carc. 1B (ECHA CL Invt., Access on May 2016 et al.)

[IARC]

(アクリルアミド)

Group 2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある

[ACGIH]

(アクリルアミド)

A2(2020) : ヒト発がん性の疑いがある

[日本産衛学会]

(アクリルアミド)

第2群A: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(アクリルアミド)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

## 生殖毒性

## [製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

## [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

cat. 1B; 日本産業衛生学会 第2群 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 2014), EU Repr. 2 (ECHA CL Invt., Access on May 2017)

催奇形性 : データなし

## 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

## [製品]

区分 1, 臓器の障害

## [成分データ]

## [区分1]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

神経系 (EU-RAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2007; ATSDR, 2012; 食品安全委員会評価書, 2016)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

## [製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

## [成分データ]

## [区分1]

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

血液系、生殖器(男性)、神経系、眼 (環境省リスク評価第1巻, 2002; NITE初期リスク評価書, 2007; NTP TR575, 2012)

誤えん有害性 : データなし

---

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

## 水生環境有害性

## [成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(アクリルアミド)

藻類 (Selenastrum capricornutum) EC50 (生長阻害)=33.8mg/L/72hr (NITE初期リスク評価書, 2007; NICNAS PEC, 2002)  
水生環境有害性 長期(慢性)  
[日本公表根拠データ]  
(アクリルアミド)  
藻類(Selenastrum capricornutum) NOEC (生長阻害)=16mg/L/72hr (OECD SIDS, 2001; NICNAS PEC, 2002; EURAR, 2002; NITE初期リスク評価書, 2007)  
水溶解度  
(アクリルアミド)  
204g/100 ml (25°C) (ICSC, 2013)  
残留性・分解性  
[成分データ]  
(アクリルアミド)  
BODによる分解度:70% (化審法DB, 1999);  
生体蓄積性  
[成分データ]  
(アクリルアミド)  
log Pow=-0.67 (PHYSPROP DB, 2005)  
土壤中の移動性 : データなし  
オゾン層への有害性 : データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法  
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
汚染容器及び包装  
容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。  
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

---

### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当  
  
注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
  
MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質  
有害液体物質(Y類) アクリルアミド  
  
国内規制がある場合の規制情報  
毒劇法、消防法の規定に従う。

---

### 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法  
劇物(令第2条) アクリルアミド(12%)(法令番号 1の3)  
労働安全衛生法  
特化則 特定化学物質 第2類 特定第2類 アクリルアミド  
名称等を表示すべき危険/有害物 アクリルアミド(別表第9の1)  
名称等を通知すべき危険/有害物 アクリルアミド(別表第9の1)  
がん原性がある物(規則第577条の2第3項)アクリルアミド  
変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達] (アクリルアミド)  
化学物質管理促進(PRTR)法  
第1種指定化学物質 アクリルアミド(12%)[アクリルアミド(12%)]

**消防法**

届出を要する消防活動阻害物質

危険物の規制に関する政令別表第2:劇物(数量 200kg)

アクリルアミド

**化審法**

優先評価化学物質 アクリルアミド(政令番号34 人健康影響)

**大気汚染防止法**

有害大気汚染物質 アクリルアミド

**水質汚濁防止法**

指定物質 アクリルアミド 法令番号 9

---

**16. その他の情報****参照文献及び情報源**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

2022 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。